

授業計画書

2025年度前期

学部	昼	年次	1	学科	鉄道科						
クラス			JK2,3	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修	
科目名				鉄道接客				講師名	本上 寛惇		
担当講師の実務経歴		○		実務経歴		東京地下鉄にて駅務2年、車掌2年半、運転士4年半経験。					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
お客様の対応における、接客の基本を学び、幅広い方向で就職後即戦力として活躍できるようにする。 鉄道業界で必要になるSPI試験の勉強をする						授業形式：講義および実技等 授業開始15分 ラインズの実施					
実施回数	学習内容				各回の到達目標				確認テスト		
								形式	点数		
1	オリエンテーション				授業紹介						
2	挨拶・態度				接客基本動作を学ぶ				実技	10	
3	第一印象				接客基本動作を学ぶ				実技	10	
4	身だしなみ				接客・就職活動にふさわしい身だしなみを学ぶ				実技	10	
5	接客用語・言葉遣い				接客基本動作を学ぶ				実技	10	
6	異常時・苦情・酔客の対応				接客基本動作を学ぶ				課題	15	
7	南海電鉄千代田工場見学				工場見学						
8	南海電鉄千代田工場見学				工場見学						
9	南海電鉄千代田工場見学 振り返り				工場見学の振り返りをする				課題	15	
10	出札				出札について学ぶ						
11	出札				出札について学ぶ						
12	出札（実技試験）				実技試験を行う				実技	30	
13	まとめ				まとめ						
追試詳細						達成度評価			使用教材		
実技試験以外は母数減らし 実技試験は別日に実技試験を実施						A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			アイパッド		

授業計画書

2025年度前期

学部	昼	年次	1	学科	鉄道科						
クラス			K2	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修	
科目名				鉄道筆記試験対策				講師名	岩村 洋子		
担当講師の実務経歴		○		実務経歴	学習塾で8年間、主に小中学生の国語を指導後、就職支援講座に携わる。履歴書やエントリーシートの書き方、筆記試験対策、小論文指導や添削などを行う。大学では正課授業を担当。現在15年目。						
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
志望する会社への就職に向け、エントリーシートの通過を目指す。 ①工夫を伴った行動ができるようになる。 ②人柄と能力が伝わる文章を書くための技術を学び、実践できるようになる。 ③語彙力を向上させ、複数の選択肢の中から言葉を選んで使えるようになる。						授業形式：講義および実技等					
実施回数	学習内容				各回の到達目標			確認テスト			
								形式	点数		
1	「社会人」として活躍するために				就活の流れ・社会人と学生の違い・聴くコミュニケーション						
2	姿勢・態度・言葉遣い・考え方・行動パターンから伝わること				「伝える」と「伝わる」						
3	書類の記入				筆跡やレイアウトから想像される人物像						
4	自己分析				自分の「軸」を見つける						
5	文章から受ける人物像①				「伝える」と「伝わる」の違い・「伝わる」文章のテクニック			筆記①	20		
6	文章から受ける人物像②				「伝える」と「伝わる」の違い・「伝わる」文章のテクニック			筆記②	20		
7	具体的に書く				具体的に書くメリットを理解する			筆記③	20		
8	ポジティブな表現				言葉による印象の違いを理解する			筆記④	20		
9	自己PR①				自分の魅力を伝える			筆記⑤	20		
10	読み手の視線でチェックする				読み手を意識して文章を書く						
11	推敲				文章を育てていく手順を学ぶ						
12	自己PR②				能力と人柄が伝わる文章を書く						
13	総まとめ				後期に繋げるために理解しておくべきことのまとめ						
追試詳細						達成度評価			使用教材		
定められた追試申請の手続きをすること。 追試は最終授業までに授業内で行う。						A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			随時ロイロノートで資料を配布する。		

授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	鉄道科						
クラス		K1・2	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修		
科目名				運賃料金			講師名	里口 邦夫			
担当講師の実務経験		○	実務経歴	近畿日本鉄道株式会社 大和西大寺駅 駅業務1年 西大寺列車区 車掌業務1.5年 西大寺列車区 運転士業務3年							
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
JRその他の運賃料金分野を学び、基礎知識を身につける						・単元毎に主な計算ルール等を理解し、演習問題を確実に解けるようにする ・授業内で小テストを実施し、60%以上を取得する					
実施回数	学習内容			各回の到達目標			確認テスト				
							形式	点数			
1	JRの基礎知識、旅客営業規則 JR運賃計算の基本ルール			6社・年齢区分・端数整理・有効期間、幹線と地方交通線についてなど基本ルールを理解する							
2	JR運賃計算①基本			本州と他にまたがる運賃計算及び通過連絡運輸を理解し、練習問題を解ける							
3	JR運賃計算②応用			連続運賃、特例都区市内等の特例を理解する			筆記①	15			
4	JR運賃計算③割引			個人と団体（個札と団券）の割引運賃の計算ができる							
5	JR運賃演習			運賃計算のルールを活用して練習問題が解ける							
6	JR料金の基礎知識			JR料金の種類と特徴、運賃との違い等を理解する			筆記②	30			
7	JR料金計算①基本			料金計算のルールを理解し、新幹線の料金計算ができる							
8	JR料金計算②応用			新幹線内乗継及び特急料金、グリーン料金、寝台料金を理解する							
9	JR料金計算③乗継割引			乗継割引適用の可否を区別することができる			筆記③	30			
10	JR料金演習			料金の例外・通し計算、山形・秋田新幹線、発売日、払い戻しを理解する							
11	JRまとめ			JRに関する国家試験レベルの問題が解けるようになる			筆記④	20			
12	貸切バス、フェリー			貸切りバスとフェリーの計算ルールを理解して、練習問題が解ける			筆記⑤	10			
13	宿泊、国内航空運賃			宿泊料金と国内航空運賃のルールを理解する							
追試詳細				達成度評価			使用教材				
公欠等で休んだ場合は、実技については後日授業内で追試を行います。 課題については、別プログラムのレポートを提出してもらいます。 決められた申請を必ず行ってください。 ※フィールドワークの日程は変更になることがあります。				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			プリント				

授業計画書

2025年度前期

学部	昼	年次	1	学科	鉄道科						
クラス			J2/K1	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修	
科目名				業界英会話				講師名	山崎 真理子		
担当講師の実務経歴		○		実務経歴	航空会社国際線乗務歴 25年。 客室責任者として配下育成業務に携わる。						
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
2年次の鉄道業界および接客待遇に相応した英会話を習得する前段階として、日常生活の場面で恐れずに英語を話せる姿勢を身に着ける。						授業形式：講義および実技等 日常英会話で使用する英単語・英語フレーズを学ぶ。					
実施回数	学習内容				各回の到達目標				確認テスト		
									形式	点数	
1	オリエンテーションUnit 1①				□授業の意義目的 □追試・評価方法□Introducing yourself						
2	Unit 1②				□基本単語・表現の確認テスト□Finding out about people				筆記	10	
3	Unit 2①				□Identifying things(1)(2)						
4	Unit 2②				□基本単語・表現の確認テスト□Describing where things are				筆記	10	
5	Unit 3①				□基本単語・表現の確認テスト□Describing personal information				筆記	10	
6	Unit 3②				□基本単語・表現の確認テスト□Talking about family members				筆記	10	
7	Unit 4①				□基本単語・表現の確認テスト□Describing where things are				筆記	10	
8	Unit 4②				□基本単語・表現の確認テスト□Describing colors and clothing				筆記	10	
9	Unit 5①				□基本単語・表現の確認テスト□Telling the time				筆記	10	
10	Unit 5②				□基本単語・表現の確認テスト□Talking about activities				筆記	10	
11	Unit 6①				□基本単語・表現の確認テスト□Talking about school				筆記	10	
12	Unit 6②				□基本単語・表現の確認テスト□Talking about personal qualities				筆記	10	
13	Review				□総復習						
追試詳細					達成度評価			使用教材			
☆基本的に講師が追試申請を確認した翌週の授業前後に実施					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			配布資料			

授業計画書

学部	昼	年次	2	学科	鉄道科	クラス	M	
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名		観光列車				講師名	里口 邦夫	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴		近畿日本鉄道株式会社 大和西大寺駅 駅業務1年 西大寺列車区 車掌業務1.5年 西大寺列車区 運転士業務3年			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
近年、鉄道会社は、お客様を目的地へお運びするだけでなく、鉄道に乗車することを目的とした「観光列車」に力を入れています。 観光列車について学び、どのような列車がお客さまに喜んでいただけるかを考え、独自の観光列車を企画しましょう。					授業形式：講義および実技等 ロイロノートを用いて、企画プレゼンテーションを実施する授業です。			
実施回数	学習内容				各回の到達目標		確認テスト	
						形式	点数	
1	オリエンテーション				オリエンテーション		課題	10
2	観光列車の歴史				観光列車の歴史を知る		課題	15
3	日本の様々な観光列車を研究しよう				観光列車について調べる			
4	日本の様々な観光列車を研究しよう				観光列車について調べる			
5	日本の様々な観光列車を研究しよう				観光列車について調べる			
6	日本の様々な観光列車を研究しよう				発表		実技	15
7	日本の様々な観光列車を研究しよう				観光列車について調べる			
8	中間試験				中間試験		筆記	15
9	日本の様々な観光列車を研究しよう				観光列車について調べる			
10	日本の様々な観光列車を研究しよう				発表		実技	15
11	理想の観光列車を計画しよう				理想の観光列車を企画する			
12	理想の観光列車を計画しよう				理想の観光列車を企画する			
13	理想の観光列車を計画しよう				発表		実技	15
14	まとめ				まとめ			
15	期末試験				期末試験		筆記	15
追試詳細					達成度評価		使用教材	
15点以下の試験は母数減らし					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		プリント対応	

授業計画書

2025年度前期

学部	昼	年次	2	学科	鉄道科					
クラス		LM4・LM5・LM6	時間数	15	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名				事業計画			講師名	鈴木 秀和		
担当講師の実務経歴		○	実務経歴	近畿日本鉄道株式会社にて駅務1年、車掌1年半、運転士9年半、助役6年 合計18年経歴。						
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方				
<ul style="list-style-type: none"> • 海外の鉄道の実情を調べて学び、プレゼンテーションを行うことで鉄道事業の視野を広げる。 • 日本の鉄道業界の現状を把握し、今後の鉄道事業が発展するためのプレゼンテーションを行い発想の転換力を養う。 						授業形式：講義および実技等 ・一つひとつのテーマに基づき、「計画」→「実行」→「把握」→「改善」の流れを体感する ・発想の転換力を養い、就職後に活かす				
実施回数	学習内容				各回の到達目標			確認テスト		
							形式	点数		
1	オリエンテーション				□授業内容を理解する					
2	プレゼンテーション概要発表				□プレゼンテーションのテーマ、作成時の注意点などを行う			課題	15	
3	作成				□プレゼンテーション資料の作成と発表練習					
4	作成				□プレゼンテーション資料の作成と発表練習					
5	作成				□プレゼンテーション資料の作成と発表練習					
6	作成				□プレゼンテーション資料の作成と発表練習					
7	作成				□プレゼンテーション資料の作成と発表練習					
8	発表				発表			課題	30	
9	プレゼンテーション概要発表				□プレゼンテーションのテーマ、作成時の注意点などを行う			課題	15	
10	作成				□プレゼンテーション資料の作成と発表練習					
11	作成				□プレゼンテーション資料の作成と発表練習					
12	作成				□プレゼンテーション資料の作成と発表練習					
13	作成				□プレゼンテーション資料の作成と発表練習					
14	発表				発表			課題	20	
15	発表				発表			発表	20	
追試詳細					達成度評価			使用教材		
4/25 6/20 は母数減らし					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下					

授業計画書

2025年度前期

学部	昼	年次	2	学科	鉄道科						
クラス		L1/M	時間数	26	単位数	2	区分	専門	必修		
科目名				鉄道企業Ⅰ			講師名	本上 寛惇			
担当講師の実務経歴		○	実務経歴	東京地下鉄にて駅務2年、車掌2年半、運転士4年半経験。							
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方							
<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道会社や他業界の様々なイベントを知る。 ・11月に開催される大阪メトロフェスティバルの準備を行う。 ・常にグループで動くことによってチームワークと責任感の醸成を目標とする。 				授業形式：講義および実技等 前半：大阪メトロフェスティバルへ向けて、イベントマーケティング研究を行い発表するグループでの活動となる。 後半：大阪メトロフェスティバルの準備を行う。グループでの活動となる。							
実施回数	学習内容			各回の到達目標			確認テスト				
							形式	点数			
1	オリエンテーション			授業の内容や進め方を理解する。							
2	イベントマーケティング研究			様々な鉄道会社のイベントについて調べる			課題	10			
3	イベントマーケティング研究			様々な鉄道会社のイベントについて発表する			実技	10			
4	イベントマーケティング研究			鉄道会社以外のイベントについて調べる			課題	10			
5	イベントマーケティング研究			鉄道会社以外のイベントについて発表する			実技	10			
6	イベントマーケティング研究			海外のイベントについて調べる			課題	10			
7	イベントマーケティング研究			海外のイベントについて発表する			実技	10			
8	大阪メトロフェスティバルに向けて			大阪メトロフェスティバル過去のブース内容について知る							
9	大阪メトロフェスティバルに向けて			大阪メトロフェスティバルのブース案作成			課題	10			
10	大阪メトロフェスティバルに向けて			大阪メトロフェスティバルのブース案発表			実技	10			
11	大阪メトロフェスティバルに向けて			大阪メトロフェスティバルのブースづくり							
12	大阪メトロフェスティバルに向けて			大阪メトロフェスティバルのブースづくり							
13	大阪メトロフェスティバルに向けて			大阪メトロフェスティバルのブースづくり完成			課題	10			
14	大阪メトロフェスティバルに向けて			ブース運営の練習・リハーサルを行う			実技	10			
15	まとめ			大阪メトロフェスティバル本番へ向けて授業を振り返り、今後に活かしていく							
追試詳細				達成度評価			使用教材				
公欠等で休んだ場合は、母数減らしとなります。公欠届の決められた申請を必ず行ってください。							ロイロノート				
				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下							